

出題傾向の分析

問 1 はリスニングテスト。昨年同様独自校共通問題で、従来の会話の応答を選ぶ問題・内容理解の問題以外に、地図を見て答える問題が加わりました。リスニング以外では問3・問4が独自校共通の問題です。問2は文法の総合問題。大きく3題からなり、1題は会話表現の問われる問題で、英文で示された状況に対してふさわしい応答を選ぶもの。神奈川県では新傾向です。他2題はオーソドックスな語順整序と単語補充の問題でした。問3は会話の流れに合うよう短文を書く条件作文。問われている文法事項は基本的なものなので点を落とせない問題です。問4はグラフのついた読解問題です。本文・グラフの両方をきちんと読み取ることが求められています。問5は長文の読解問題。登場人物の趣味や将来の夢など複数の情報について問われる問題で、独自問題にはよく見られる形式です。表を用いた出題も近年独自問題で散見される形式です。問6は会話文で、単位の換算を求められる問題もありやや難問でした。

入試までに準備しておくこと

単語の問題では、他独自校と同じ単語の出題も見られます。特に月の名前・曜日は必ず書けるようにしましょう。文法問題は1・2年の範囲から広く出題されるので、既習範囲の復習を怠らないようにしましょう。文法事項の復習のみならず、整序作文の問題にも積極的に取り組むようにしましょう。

読解問題では会話の出題が多く見られます。内容としては異文化理解・国際交流に関する話題が多いのが本校の特徴です。日頃から長文を速く正確に読むことができるよう、練習をしておきましょう。

条件作文は近年独自入試でますます出題が増えている分野です。文法の復習をきちんとするとともに、短文を書く練習や和文英訳の練習をしておきましょう。

リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準2級・3級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

英語		分野別出題形式	22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	8	8	10	
	記述	英問英答				
		和問和答				
小計			8	8	10	
語彙	記号	綴り	2		1	
		語形変化				
		発音・アクセント				
小計			2	0	1	
文法	記述	適語(句)選択	3			
		適語(句)補充				
		語順整序	2	5	5	
	記号	部分英作				
		完全英作				
正誤問題・誤文訂正			3	5	5	
小計			8	10	10	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	10	13	6	
		内容一致	10	9	10	
		段落・文整序		1		
		段落・文・節挿入	5	3	2	
		適語(句)・文選択	3	2	5	
	語順整序				1	
	記述	内容理解(指示語など)				
		語形変化				
		空所補充			1	2
		和文英訳				
		部分英作				
英問英答						
条件英作			4	2	4	
和問和答						
小計			32	32	29	
合計点			50	50	50	

出題傾向の分析

出題構成は昨年度と同様に大問6題、うち1題が独立小問集合形式で、総小問数は17題でした。

問1は8問の小問集合となっていて、近年はここで、単項式の乗除、平方根の計算、2次方程式、連立方程式、円周角の問題が出題されています。問2は例年通り関数の出題があり、今年も面積に関する問題が出されています。この単元は今年も他の独自問題出題校と共通の問題になっていますが、昨年度の関数の共通問題と比較して難易度が上がっています。問3では確率が中問として出題されました。昨年度と異なり、さいころを使うものではなくりましたが、複雑な計算をする必要はなく、数えれば解けるこの問題は落とすことができません。問4は規則通りに並んだ数字に関する問題でしたが、難易度はあまり高くありませんでした。問5は空間図形からの出題でした。毎年難易度が高めの分野ですが、今年もその傾向は変わりませんでした。また、昨年度は鎌倉独自の空間図形の問題を出題していましたが、今年はこの空間図形の問題も他の独自問題出題校と共通の問題になっています。問6は円と直線に関する問題で、全文記述形式の証明問題が出題されました。こちらも、他の独自問題出題校と共通の問題でした。

入試までに準備しておくこと

昨年は大問6題のうち2題が他の独自問題出題校と共通の問題であり、この2題の難易度はあまり高くありませんでした。一方、今年は大問6題のうち3題が共通の問題となっていますが、この共通問題の難易度が昨年度よりも高くなっています。特に関数と空間図形の難問については経験が必要ですので、神奈川県独自の入試以上のレベル、すなわち難関国私立高校や都立独自入試の問題に触れておくことが望ましいです。

ただし、共通問題の難易度が高くなった分、その他の単元の難易度はあまり高くありませんでした。こちらの問題で取りこぼしをしないことも大切です。対策としては、鎌倉の過去問を解くのはもちろんのこと、他に独自入試を行っている神奈川県の学校の過去問や、他の都道府県の共通入試の過去問など、様々な問題に触れておきましょう。1つ1つの事象を丁寧に検証する根気強さやその場でじっくり考える力を身につける必要があります。

領域	内容	配点		
		22年度	21年度	20年度
数と式	数の性質・表現			
	数の計算	2	2	
	式の計算	2		2
	平方根	2	3	5
	多項式の乗法			
	因数分解			
	小計	6	5	7
方程式	1次方程式			
	連立方程式	3	3	3
	2次方程式	3	3	2
	方程式の応用			3
	不等式・不等式の応用			
	小計	6	6	8
関数	比例と反比例			
	1次関数			
	2次関数			2
	変化の割合・変域	3		
関数と図形	直線と曲線	3	3	2
	関数と図形	3	3	3
	小計	9	6	7
三角形・四角形	角度			
	作図			
	合同			
	相似		6	
	三角形			6
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理	8	6	7
	円と弧・弦・接線			
	線分、線分比		3	
	面積、面積比			
空間図形	点の移動と図形			
	線分、線分比	6	3	3
	面積、面積比	3	3	
	体積、体積比			3
	点の移動と図形		3	
回転体、球		3		
	小計	17	27	19
確率	場合の数			
	確率	6	6	3
総合問題	数と式	6		6
	図形			
	その他			
	小計	12	6	9
	合計	50	50	50